

# 業績集

## 著書

臨床理学療法評価法－臨床で即役に立つ理学療法評価のすべて－

鈴木俊明 監修、西守隆、大沼俊博、大工谷新一、廣瀬浩昭、谷埜予士次、高崎恭輔、嘉戸直樹、米田浩久 共著

神経疾患の評価と治療

鈴木俊明、後藤淳、渡邊裕文、大沼俊博 監修、嘉戸直樹、金井一暁、田淵愛、蔦谷星子、布谷美樹、米田浩久 共著

エンタプライズ、東京、2004

Effects Repetitive Finger Movements on the Sort-Latency Somatosensory Evoked Potentials

Yoshinori Yamamoto, Naoki Kado

In: Toshiaki Suzuki, editor. Neurological Pthysical Therapy, InTech:2017

ISBN: 978-953-51-3113-7

## 国内論文

下肢の随意運動が上肢脊髄神経機能の興奮性に与える影響－脳血管障害片麻痺患者 1 症例における検討－

嘉戸直樹、鈴木俊明、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、大工谷新一

関西鍼灸短期大学年報 15:70-74,1999.

下肢の随意運動時における上肢脊髄神経機能の興奮性の変化－脳血管障害片麻痺患者及び健常者における検討－

嘉戸直樹、岩永優子、鈴木俊明、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、大工谷新一

関西鍼灸短期大学年報 16:93-97,2001.

脳血管障害片麻痺患者の下肢随意運動が非麻痺側上肢脊髄神経機能に与える影響

嘉戸直樹、鈴木俊明、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、大工谷新一

関西鍼灸短期大学年報 17:97-101,2002.

体幹筋群および殿筋群への治療により麻痺側上肢機能の改善を認めた脳血管障害片麻痺患者 1 症例

嘉戸直樹

関西理学療法 2:109-112,2002.

脳血管障害片麻痺患者の大胸筋短縮が、腹筋群およびハムストリングスの筋緊張に及ぼす影響—表面筋電図による治療効果判定を行った一症例について—

高崎恭輔、嘉戸直樹

関西理学療法 2: 121-127, 2002

重心移動における誘導方法の違いが姿勢や動作の改善に影響を与えた視床出血患者の一症例—体性感覚誘発電位を用いた治療効果の検討—

石濱崇史、嘉戸直樹、小竹顕作、山本吉則、後藤 淳、大工谷新一

関西理学療法 4: 131-136, 2004

一側上肢の随意運動が対側上肢の感覚機能に及ぼす影響

山本吉則、鈴木裕介、辻本憲吾、嘉戸直樹、鈴木俊明

関西理学療法 11:77-82,2011

麻痺側肩甲帯と体幹に着目した理学療法により麻痺側手指の分離運動に改善を認めた脳梗塞後右片麻痺の一症例

大西真代、塚本枝里、鈴木裕介、山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

関西理学療法 11:131-138,2011

右遊脚終期から立脚中期での右股関節周囲筋群の筋緊張異常により右後方への不安定性を認めた脳梗塞後右片麻痺の一症例

奥村亮、塚本枝里、鈴木裕介、山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

関西理学療法 12:95-100,2012

手指反復運動の頻度が体性感覚誘発電位に及ぼす影響

山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

理学療法科学 28:257-260,2013

非周期的な手指反復運動が短潜時体性感覚誘発電位に及ぼす影響

山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

臨床神経生理学 43:65-69,2015

着座動作

山本吉則、嘉戸直樹

関西理学療法 15:13-16,2015

運動スピードが体性感覚入力に及ぼす影響

山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

関西理学療法 17: 55-58, 2017

### 国内学会

感覚障害に対するアプローチにより歩行能力が改善した痙性片麻痺の一症例

嘉戸直樹、泉秀行、川西雄三郎、目崎高広、大工谷新一、鈴木俊明

第9回三重県理学療法士学会、三重、1998,3,15.

下肢の随意運動が上肢脊髄神経機能の興奮性に与える影響

—脳血管障害片麻痺患者及び健常者における検討—

嘉戸直樹、鈴木俊明、谷万喜子、鍋田理恵、大工谷新一

第11回三重県理学療法士学会、三重、2000,3,12.

頸部の運動による連合反応が顕著であった脳血管障害片麻痺患者の一症例

岩永優子、嘉戸直樹、大工谷新一、鈴木俊明

第11回三重県理学療法士学会、三重、2000,3,12.

非麻痺側過活動を有する脳血管障害片麻痺患者の一症例

三好裕子、嘉戸直樹、大工谷新一

第11回三重県理学療法士学会、三重、2000,3,12.

下肢の随意運動時における上肢脊髄神経機能の変化

—脳血管障害片麻痺患者及び健常者における検討—

嘉戸直樹、岩永優子、鈴木俊明、谷万喜子、鍋田理恵、若山育郎、大工谷新一

第16回東海北陸理学療法士学会、愛知、2000,11,26.

頸部随意運動が上肢脊髄神経機能の興奮性に与える影響

—脳血管障害片麻痺患者と健常者の比較検討—

岩永優子、嘉戸直樹、鈴木俊明、谷万喜子、鍋田理恵、若山育郎、大工谷新一  
第 16 回東海北陸理学療法士学会、愛知、2000,11,26.

下肢の随意運動が非麻痺側上肢脊髄運動神経機構の興奮性に与える影響

嘉戸直樹、岩永優子、鈴木俊明、谷万喜子、鍋田理恵、大工谷新一  
第 12 回三重県理学療法士学会、三重、2001,3,11

非麻痺側への体重移動が困難な脳血管障害片麻痺患者の一症例

岩永優子、嘉戸直樹、後藤淳、大工谷新一  
第 12 回三重県理学療法士学会、三重、2001,3,11

脳血管障害片麻痺患者における下肢随意運動時の非麻痺側上肢脊髄神経機能の変化

嘉戸直樹、田淵愛、鈴木俊明、谷 万喜子、鍋田理恵、若山育郎、大工谷新一  
第 17 回東海北陸理学療法士学会、石川、2001,11,10-11

体幹筋群および殿筋群への治療により麻痺側上肢機能の改善を認めた脳血管障害片麻痺患者の 1 症例

嘉戸直樹、大工谷新一、鈴木俊明、谷 万喜子  
第 13 回三重県理学療法士学会、三重、2003,3,9.

視床出血により左片麻痺を呈した脳血管障害片麻痺患者の 1 症例

— 1 回の治療前後における体性感覚誘発電位の変化—  
小竹顕作、嘉戸直樹、小野淳子、後藤淳、大工谷新一  
第 14 回三重県理学療法士学会、三重、2003,3,2

麻痺側上肢機能と歩行機能が改善した脳血管障害片麻痺患者の一症例

小野淳子、嘉戸直樹、石濱崇史、小竹顕作、後藤淳、大工谷新一  
第 14 回三重県理学療法士学会、三重、2003,3,2

重心移動における誘導方法の違いが姿勢や動作の改善に影響を与えた視床出血患者の 1 症例—体性感覚誘発電位を用いた治療効果の検討—

石濱崇史、嘉戸直樹、小竹顕作、山本吉則、後藤淳、大工谷新一  
第 15 回三重県理学療法士学会（三重）2004,3,21.

歩行能力障害によって非麻痺側下肢の感覚機能低下を呈した脳血管障害片麻痺患者の 1 症

例－SEPを用いた非麻痺側下肢の感覚機能評価－

山本吉則、嘉戸直樹、小竹顕作、石濱崇史、後藤 淳、大工谷新一

第 15 回三重県理学療法士学会、三重、2004,3,21.

歩行機能の改善に伴い左半側空間無視症状が改善した脳血管障害片麻痺患者の 1 症例

森信彦、嘉戸直樹、後藤淳、大工谷新一

第 20 回東海北陸理学療法士学会、富山、2004,10,30-31

頸部・肩甲帯周囲筋群の筋緊張亢進による頸部・肩甲帯の可動障害によって歩行能力が低下していたワレンベルグ症候群の一症例

矢野梓、嘉戸直樹、小竹顕作、石濱崇史、山本吉則、森信彦、後藤淳、大工谷新一

第 16 回三重県理学療法士学会、三重、2005,3,13.

麻痺側上肢帯を中心とする運動療法で歩行機能が改善した脳血管障害片麻痺患者の一症例

守山真衣、嘉戸直樹、小竹顕作、石濱崇史、山本吉則、小野淳子、後藤淳、大工谷新一

第 16 回三重県理学療法士学会、三重、2005,3,13

非麻痺側の肩甲帯周囲筋と体幹筋に筋緊張の亢進を認めた脳血管障害片麻痺患者の 1 症例  
－表面筋電図を用いた理学療法効果の検討－

山本真理、山本吉則、嘉戸直樹、大工谷新一、鈴木俊明

第 18 回三重県理学療法士学会、三重、2007,3,4.

麻痺側の体幹と上肢帯に対する理学療法により麻痺側上肢の挙上と歩行が可能になった脳血管障害片麻痺患者の 1 症例

福田一矢、山本吉則、森信彦、嘉戸直樹、大工谷新一、鈴木俊明

第 18 回三重県理学療法士学会、三重、2007,3,4.

腰背筋と腹斜筋群の相互関係を考慮する必要があった脳血管障害右片麻痺患者の 1 症例  
－表面筋電図を用いた理学療法効果の検討－

鈴木裕介、山本吉則、嘉戸直樹、大工谷新一、鈴木俊明

第 19 回三重県理学療法士学会、三重、2008,3,16.

痛みを伴う左肩甲帯のアライメント不良と左半側空間無視が体幹筋の活動を阻害していた脳血管障害片麻痺患者の 1 症例

榎本章人、山本吉則、守山真衣、嘉戸直樹、大工谷新一、鈴木俊明

第 20 回三重県理学療法士学会、三重、2009,3,15.

麻痺側肩甲帯と体幹に着目した理学療法により麻痺側手指の運動に改善を認めた脳血管障害片麻痺の一症例

—表面筋電図を用いた理学療法効果の検討—

大西真代、塚本枝里、鈴木裕介、山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

第 22 回三重県理学療法士学会、三重、2011,3,6.

複雑性の異なる手指の対立運動が体側上肢脊髄神経機能に及ぼす影響

辻本憲吾、山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

第 27 回東海北陸理学療法学会、富山、2011,10,29-30

右遊脚終期から立脚中期での右股関節周囲筋群の筋緊張異常により右後方へ不安定性を呈した右片麻痺の一症例

奥村亮、塚本枝里、鈴木裕介、山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

第 23 回三重県理学療法士学会、三重、2012,3,18.

トイレ動作の不安定性により呼吸困難感が生じた COPD を合併した脊髄小脳変性症患者の一症例

山本晃三、塚本枝里、鈴木裕介、山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

第 23 回三重県理学療法士学会、三重、2012,3,18

運動頻度の異なる手指反復運動が体性感覚誘発電位に及ぼす影響

山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

第 28 回東海北陸理学療法学会、三重、2012,11,10-11

運動頻度の異なる手指反復運動後における体性感覚誘発電位の変化

山川翔太、山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

第 24 回三重県理学療法学会、三重、2013,3,17

運動視時の When 経路の活動性

辻本憲吾 森岡周

日本視覚学会 2013 年夏季大会、北海道、2013,7,24-26

非周期的な手指反復運動が短潜時体性感覚誘発電位に及ぼす影響

山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

第 43 回日本臨床神経生理学会学術大会、高知、2013,11,7-9

表面筋電図を用いた歩行動作の筋活動パターン評価に基づき理学療法を行うことで歩行動作に改善を認めた脳血管障害片麻痺の一症例

白藤恵理子、山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

第 10 回日本神経理学療法学会学術集会、京都、2013,12,14-15

トイレ動作のズボン脱衣時に右下肢の支持性が低下していた右片麻痺の一症例

出口陽子、黒川奈津実、久世友美、中濱慎之、渥美貴成、山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

第 25 回三重県作業療法学会、三重、2014,3,16

運動頻度の増加が体性感覚入力に及ぼす影響—体性感覚誘発電位を用いた検討—

山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

第 49 回日本理学療法学会学術大会、横浜、2014,5,30-6,1

運動視刺激を用いたボトムアップおよびトップダウン的注意喚起が脳波活動に及ぼす影響

辻本憲吾、森岡周

第 49 回日本理学療法学会学術大会、横浜、2014,5,30-6,1

片手動作および両手動作が体性感覚機能に及ぼす影響—短潜時 SEP を用いた検討—

山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

第 45 回日本臨床神経生理学会学術大会、大阪、2015,11,5-11,7

両手の交互運動が体性感覚誘発電位に及ぼす影響

山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

第 53 回日本リハビリテーション医学会学術集会、京都、2016,6,9-6,11

手指対立運動における運動順序の違いが短潜時 SPE に及ぼす影響

山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

第 46 回日本臨床神経生理学会学術大会、福島、2016,10,27-10,29

左荷重応答期の筋活動パターンの改善により歩行動作の安定性が向上した左大腿骨転子部骨折患者の一症例

鷹野由夏、山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

第 28 回三重県理学療法学会、三重、2017,3,12

片手および両手における母指への重錘負荷が短潜時 SEP に及ぼす影響

山本吉則、嘉戸直樹、鈴木俊明

第 47 回日本臨床神経生理学会学術大会、横浜、2017,11,29-12,1

#### 国際学会

The relationship between the spinal neuron function of affected arm and voluntary movement of the leg in patient with cerebrovascular disease.

N.Kado,T.Suzuki,M.Tani,R.Nabeta,I.Wakayama,S.Daikuya

7th Asian Confederation for Physical Therapy Congress,MAKATI,PHILIPPINES,  
2000,9.8-10.

H-reflex from unaffected hand muscle in hemiparesis during straight leg raising

KADO.N,SUZUKI.T,TANI.M, WAKAYAMA.I,DAIKUYA.S

14th Congress of International society of Electrophysiology and Kinesiology  
(ISEK2002).VIENNA,AUSTRIA.2002,6.22-25,

THE RELATIONSHIP BETWEEN THE SPINAL NEURAL FUNCTION OF  
UNAFFECTED ARM AND HOLDING THE POSITION OF THE LEG IN PATIENTS  
WITH CEREBROVASCULAR DISEASE

Kado N,Suzuki T,Tani M,Nabeta R,Wakayama I,Daikuya S,

14th International Congress of World Confederation for Physical  
Therapy,BARCERONA,SPAIN.2003,6.7-12

The activity of the “when” pathway during visual motion.

Tsujimoto K. Morioka S

European Association for Vision and Eye Research

Nice,France 2013.9.18-21

#### シンポジウム

嘉戸直樹：平成 14 年度三重県 PT・OT 合同勉強会

高次脳機能障害－評価と治療について－.三重.2002.9.1.